

# 君津市長杯争奪 第3回 君津モルック大会

## 大会ルールと競技方法

### ■本大会におけるルールについて

- ・本大会では各コートに用意したモルック棒を使用してください(マイ棒は使用できません)。
- ・チーム内の投げ順及び出場メンバーは、ゲーム毎に変更可能です。  
ただし、出場メンバーを変更できるのは3人又は4人でエントリーのチームのみです。登録しているメンバーのうち、2人又は3人又は4人でゲームに出場することが可能です(必ずしも全員でゲームに参加しなくてもよい)。
- ・ゲーム中やむをえない事由により参加プレイヤーがゲームを離脱しなければならない場合、対戦チームの合意があればゲームから抜けることができます(1人でのプレイは不可。ゲームを離脱する場合は棄権とみなし、そのゲームの得点は失います)。
- ・「投擲」の定義については 本大会においては、上投げによる投擲は禁止とする。
- ・ 試合コートについては、本大会においては、幅 6m、長さ 12mとする。
- ・ 時間超過 本大会においては、投擲者は 60 秒以内に投擲モーションに入らなければならない。
- ・チーム内での投擲順の誤り  
プレイヤーが自らの順番でないときに投げてしまった場合、投擲ミス(0点)とみなされる。  
その後の投擲順は、正しいプレイヤーが投擲したかのように継続される。(プレイヤーが2回続けて投げることもある)
- ・チームによる投擲順の誤り  
チームが自分たちの順番でないときに投げてしまった場合、得られた点数は無効とされ、ペナルティとして、そのチームの次の投擲は見送られ、投擲ミス(0点)とみなされる。  
投擲順は誰も投げなかったものとして再開される(本来投げるべきだったチームから再開)
- ・ 審判員
  - ・本大会においては、決勝戦において主審判及び副審判を配置する。
  - ・決勝戦以外の試合においては、審判なし(セルフジャッジ)で試合が行われる。

- ・それぞれのチームは、ルール遵守の責任を負わなければならない。
- ・納得が得られない場合、大会本部スタッフが呼ばれる。
- ・それ以外については、「JMAモルックの基本ルール」に準拠します。

(注)当日の天候やスケジュールに応じて、時間制限の短縮等をする可能性があります。その場合は、当該チームへその旨を連絡します。

(注)コートにあるモルックは練習には使用しないでください。

## ■スケジュール

|             |           |
|-------------|-----------|
| 8:00～8:50   | 入場・受付     |
| 9:00～9:20   | 開会式       |
| 9:30～10:10  | 予選リーグ第1試合 |
| 10:20～11:00 | 予選リーグ第2試合 |
| 11:10～11:50 | 予選リーグ第3試合 |
| 12:30～13:20 | 準決勝戦      |
| 13:30～14:20 | 決勝戦       |
| 14:30～15:00 | 閉会式       |

※試合の進行状況により、スケジュールが前後することがある。

## ■予選リーグ(27チーム→9チーム) 9:30～11:50 セルフジャッジ制

### 【試合方式】

- ・27チームを9チームごとの3のグループに分けて、グループ内で試合を行う。
- ・各チーム、3試合を行う。
- ・各試合、2～3チームで試合を行い、1試合につき2セット行う。  
1試合の制限時間は40分です
- ・投擲順は以下のとおりとする。チーム代表者によるじゃんけんで勝ったチームから順に、A,B,Cのいずれかを選ぶ。  
1セット目:A → B → C または A → B  
2セット目:C → B → A または B → A
- ・1ゲーム12ターン制です。いずれかのチームが50点になった時点でゲーム終了ですが、12ターン目になっても勝負がつかない場合、各チームが12ターン目を投げ終えた時点で、

ゲーム終了です。

- ・つまり、12 ターン内、又は制限時間内に上げられなかった場合は、その時点の得点で終了となります。
- ・試合ごとに終了時間の3分前(試合開始時から37分経過時)にホイッスルを鳴らす。2セット終わっていない場合は、ホイッスルが鳴った時のターンで最後のチームが投げ終わった時点または、いずれかのチームが50点を獲得した時点で試合を終了とする。なお、1セット目が終了しなかった場合は、2セット目は全チーム0得点とする。  
例:A→ホイッスル→B→C 終了
- ・予選リーグに於いては、37点ルールは採用しませんが、悪質なファールが続いたと判断された場合は失格となりそのゲームは0得点とする。
- ・1つのグループで4コートを使用し、以下の順序、組合せで試合行う。

#### A グループ

| 時間              | コート1  | コート2  | コート3  |
|-----------------|-------|-------|-------|
| [1] 9:30~10:10  | ①・②・③ | ④・⑤・⑥ | ⑦・⑧・⑨ |
| [2] 10:20~11:00 | ③・⑤・⑦ | ①・⑥・⑧ | ②・④・⑨ |
| [3] 11:10~11:50 | ②・⑥・⑦ | ①・⑤・⑨ | ③・④・⑧ |

#### B グループ

| 時間              | コート4  | コート5  | コート6  |
|-----------------|-------|-------|-------|
| [1] 9:30~10:10  | ①・②・③ | ④・⑤・⑥ | ⑦・⑧・⑨ |
| [2] 10:20~11:00 | ③・⑤・⑦ | ①・⑥・⑧ | ②・④・⑨ |
| [3] 11:10~11:50 | ②・⑥・⑦ | ①・⑤・⑨ | ③・④・⑧ |

#### C グループ

| 時間              | コート7  | コート8  | コート9  |
|-----------------|-------|-------|-------|
| [1] 9:30~10:10  | ①・②・③ | ④・⑤・⑥ | ⑦・⑧・⑨ |
| [2] 10:20~11:00 | ③・⑤・⑦ | ①・⑥・⑧ | ②・④・⑨ |
| [3] 11:10~11:50 | ②・⑥・⑦ | ①・⑤・⑨ | ③・④・⑧ |

#### 【順位決定方法】

- ・各グループ内の順位を、3 試合 6 セットの合計得点によって決定する。最大 300 点で、合計得点の多いチームが上位となる。
- ・6 セットの合計得点と同じ場合は、50 点で上がったセット数によって順位を決定する。50 点で上がったセット数が多いチームが上位となる。
- ・50 点であがったセット数も同じ場合は、当該チーム間で各チーム 4 投によるモルックアウトにより順位を決定する。4 投の合計得点が多いチームを上位とし、チームの選手数に関わらず 1 チーム 4 投の投擲とする。モルックアウトのチーム順はじゃんけんを選択 (a→b→b→a→a→b→b→a) し、4 投で同点時は以降決着がつくまで 1 投ずつ延長する。このモルックアウトは、準々決勝戦進出に關係する順位を決めるときのみ行う。
- ・各グループ上位 3 チーム計 9 チームが準決勝戦へ進む。

### ■準決勝戦(9 チーム→3 チーム) 12:30~13:20 セルフジャッジ制

#### 【試合方式】

3 チームで試合を行い、2 セット行う。

- ・投擲順は以下のとおりとする。チーム代表者によるじゃんけんて勝ったチームから順に、A,B,C のいずれかを選ぶ。
  - 1 セット目 : A → B → C
  - 2 セット目 : C → B → A

終了時間の 3 分前(試合開始時から 47 分経過時)にホイッスルを鳴らす。2 セット終わっていない場合は、ホイッスルが鳴った時のターン内での最後のチームが投げ終わった時点で、試合を終了とする。

ターン制限はありません。

#### 【順位決定方法】

- ・2 セットの合計得点によって順位を決定する。合計得点の多いチームが上位となる。
- ・2 セットの合計得点と同じ場合は、50 点で上がったセット数によって順位を決定する。50 点で上がったセット数が多いチームが上位となる。
- ・2 セットの合計得点及び 50 点で上がったセット数が同じ場合は、当該チーム間で各チーム 4 投ずつによるモルックアウトにより順位を決定する。4 投の合計得点が多いチームを上位とし、チームの選手数に関わらず 1 チーム 4 投の投擲とする。モルックアウトのチーム順はじゃんけんて選択 (a→b→b→a→a→b→b→a) し、4 投で同点時は以降決着がつくまで 1 投ずつ延長する。

### ■決勝戦 13:30~14:20 審判制

#### 【試合方式】

- ・3 チームで試合を行い、2 セット行う。

・投擲順は以下のとおりとする。チーム代表者によるじゃんけんで勝ったチームから順に、A,B,Cのいずれかを選ぶ。

1 セット目 : A → B → C

2 セット目 : C → B → A

・終了時間の 3 分前(試合開始時から 47 分経過時)にホイッスルを鳴らす。2 セット終わっていない場合は、ホイッスルが鳴った時のターン内での最後のチームが投げ終わった時点で、試合を終了とする。

ターン制限はありません。

### 【順位決定方法】

- ・2 セットの合計得点によって順位を決定する。合計得点の多いチームが上位となる。
- ・2 セットの合計得点と同じ場合は、50 点で上がったセット数によって順位を決定する。50 点で上がったセット数が多いチームが上位となる。
- ・2 セットの合計得点及び 50 点で上がったセット数と同じ場合は、当該チーム間で各チーム 4 投ずつによるモルックアウトにより順位を決定する。4 投の合計得点が多いチームを上位とし、チームの選手数に関わらず 1 チーム 4 投の投擲とする。モルックアウトのチーム順はじゃんけんで選択(a→b→b→a→a→b→b→a)し、4 投で同点時は以降決着がつくまで 1 投ずつ延長する。

### モルックアウト

3 試合の累計などで勝敗を決める際に、同点になった場合に行われます。

- ・ 図のように、手前から[6]、[4]、[12]、[10]、[8]の順にスキttlを並べる。その際モルック(投げ棒)の長さの間隔にする。
- ・ それぞれのチームメンバーが 1 回ずつモルックを投げる。投げられる度にスキttlは元の位置に戻す。
- ・ 点数は通常のモルックと同じように計算します。(1 本倒れたらスキttlの数が点数、数本倒れたら倒れた本数が点数)
- ・ チームの総得点で勝敗を決めます。
- ・ チーム点数が同点になった場合は、1 対 1 でサドンデス勝負をします。
- ・ 4人制の場合: 初投 A チーム、続いて B チーム 2 投、A チーム 2 投、B チーム 2 投、最後の投擲 A チーム。
- ・ 3人チームの場合、4 投目は 1 人目に戻ります。4 人チームの場合はそのまま 4 投目は 4 人目が投げます。

